



# 大切なあなたの愛車 **カードクター診断**してみませんか？

最近の車は、燃費向上や環境保護、事故防止のための機能が搭載されているのですが、これらの機能が正常に動作しているかどうかは、従来の目視などによる点検では判断できませんでした。しかし、**コンピューター診断機**を使えばこれらの機能の状態を**素早く正確**にチェックすることができます。

お客様の大切な愛車の健康状態を、**最新鋭のコンピューター診断機**でチェックし、安全・快適・エコなカーライフを提供する。これが「**カードクター診断**」です。

この機会に是非、**コンピューター診断機**を使って、今までの点検や車検ではチェックできなかった部分を**カードクター診断**で点検してみませんか？ **30分 3,000円(税抜)～**

## それは目に見えない不具合かもしれません！



- なんだか燃費が悪くなった気がする。
- 最近調子が悪いみたい。
- 排気ガスが以前より汚くなった気がする。
- 万一時、エアバッグはちゃんと膨らむかしら？

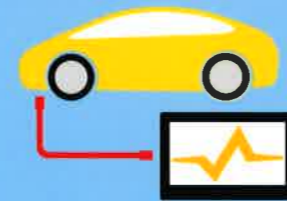


## これからの点検は…

目視による  
部品の劣化などの点検



コンピューター診断機を  
使った点検



従来の目視などによる点検にプラスして、コンピューター診断機を使用し、今まで不可能だったセンサーなどの故障を点検します！

## より精密な点検でスッキリ!!



- あなたの愛車をお守りします！
- 安心・安全なカーライフを！

OK!

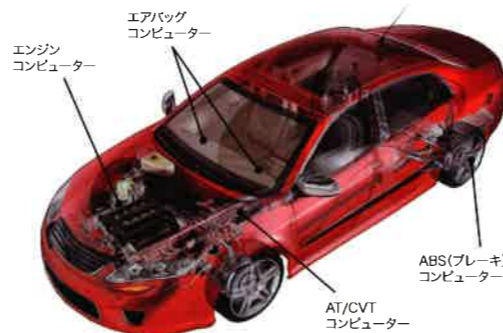


## 車のコンピューター化が進んでる？

最近の車は、あらゆる部分を車に搭載しているコンピューターで制御するようになってきました。例えば、気温や湿度などに合わせて、燃費が良くなるようにガソリンの量を調整しながら燃やしています。

もし、コンピューターの調子が悪く、間違えてガソリンの量を多く調整してしまったら…

燃費が悪くなったり、あるいは汚い排気ガスを排出して環境を汚しているかもしれません。しかし…残念ながら、コンピューターで制御しているため、**目視点検ではわかりません。**



## コンピューター診断機ってこんなことまでできちゃいます！

また、当社で導入している最新鋭コンピューター診断機「G-scan」は異常個所の発見以外にも様々な機能を持っているトップクラスの高性能なコンピューター診断機です。

例えば

- 輸入車のメーター内に表示される点検時期警告のリセットをしたい！
- 中古車で購入したハイブリッド車のバッテリー状態を確認したい！
- リモコンキーを増やしたい！
- 間欠ワイパーの間隔調整などのカスタマイズ(設定変更)をしたい！ などなど…

気になる点があれば、お気軽にご相談ください。



## コンピューター診断って？ コンピューター化された車を点検するにはコンピューター診断機が必要

メーター内の警告灯は重大な異常が発生した場合点灯します。それは愛車からのSOSです。そして、そのSOSの内容を確認するにはコンピューター診断機が必要になります。警告灯は、重大な異常以外点灯しませんが、**点灯していなくてもコンピューター診断機があれば重大な異常に発展する前の状態を見つけることができます。**下記に、代表的な警告灯の内容をご説明します。



**エンジン**

エンジンの制御系などにトラブルが生じている場合点灯します。放置すると重大な故障の原因になります。

**AT/CVT**

運転状況に応じたギア変速を制御しているコンピューターにシステム異常がある場合点灯します。放置すると最悪の場合、走行不能になります。

**ABS(ブレーキ)**

急ブレーキをかけた時タイヤがロックするのを防ぐシステムが故障している場合点灯します。放置すると突然のスリップスピンで重大事故につながる恐れがあります。

**SRSエアバッグ**

エアバッグのシステム異常がある場合に点灯します。万が一事故を起こした時に開かなかったり走行中にエアバッグが開く恐れがあります。

## 目視による機械部品の主な点検箇所

エンジンオイル	AT/CVTオイル	冷却水	タイヤ	ブレーキパッド
新品 ▶ 劣化後	新品 ▶ 劣化後	新品 ▶ 劣化後	新品 ▶ 劣化後	新品 ▶ 劣化後
オイルを使用し動作時の摩擦を少なくすることでエンジンをスムーズに動かしています。長期使用していると劣化したり減少したりし、エンジンの故障につながります。	変速機のミッションオイルでギアを変えるときに利用されるオイルです。長期使用しているとオイルが劣化し、最悪の場合走行できなくなったりします。	冷却水は主にエンジンの冷却、冷却系の金属部品の防錆や冷却水の凍結防止をする役割を担っており、交換を怠るとエンジンがオーバーヒートして大修理につながる恐れがあります。	曲がる回数が多い方、STOP&GOが多い都市部の方は定期的なタイヤチェックが必要です。溝がすり減った状態で走り続けるとスリップしやすくなり事故の原因となります。	ブレーキパッドはブレーキを使用すれば少しずつすり減っていきまます。劣化したまま走り続けるとブレーキがきかなくなり、重大事故につながる恐れがあります。
交換時期のめやす 7,500km/6ヶ月	交換時期のめやす 20,000km~50,000km	交換時期のめやす 2年毎	交換時期のめやす 溝の深さ 4.0mm以下 (新品：約8mm)	交換時期のめやす パッドの残量2mm以下 (新品：約10mm)